

「目屋ダム ラストバトル」

青森県県土整備部河川砂防課長 福士 祐治

2月、津軽ダムの「試験湛水式」がありました。雑文が皆様の目に触れる頃には、きっと目屋ダムは完全に水没しており、思いは複雑なところでは

この目屋ダムですが、昨年ダムファンが選ぶアカデミー賞「日本ダムアワード2015」の「低水管理賞」を受賞しています。サブタイトルは「目屋ダムラストバトル」有終の美をかざる。最後のぎりぎりまで用水を補給し続けた姿は、全国からの声援を受け、その受賞はお見事です。

津軽ダム本体が立ち上がるにつれ、目屋ダムはあまりにも小さく、濁水から洪水まで綱渡りの操作をこなしてきた先輩方に改めて敬意を表するものです。お疲れ様でした。



事業効果を表す資料で「目屋ダムあつての番水制」というのを個人的にすごく気に入っています。

土淵川 治水から環境へ

目屋ダムは、昭和35年完成です。私はその前年生まれですので、ほぼ同年代です。

昭和40年代はとにかく川は汚

れていました。家の前を土淵川が流れていましたが、当時私は家の残飯を川に捨てる係でした。川はイトミミズで赤かった事を覚えています。そんな川が、昭和50年代の大洪水（我が家も毛布が支給された）、そして河川再生を得て、今では、市街地の散策エリアになっています。市民として先達に感謝です。もちろん「川を愛する会」の活動にも大感謝です。

次のページに続く



目次:

「目屋ダムラストバトル」	P1
平成27年度活動報告 堤川を愛する会	P2
平成27年度活動報告 サークル「母なる川」	P3
平成27年度活動報告 ジョイリバーおいらせ	P3
平成27年度活動報告 親しめる川づくりサーク	P4
総会・朗読会	P4
水辺関心創造アクション 松館川原料の地	P5
河川技術講演会	P6
薦川清掃活動	P6
イワナの産卵床づくり	P7
平成28年度あおもりの 川を愛する会総会のご 案内 事務局より	P7

ハイライト:

- ・我が家も毛布が支給された！(P1)
- ・水の色が赤いため紅河？(P3)
- ・500匹のニジマスが悪戦苦闘！(P4)

ハザードマップ 治水「治める」から「逃げる」へ

一昨年の広島土砂災害、昨年の鬼怒川決壊など、雨の降り方がおかしくなっています。

河川でも、避難時間を稼ぐため「粘り強い堤防」（天端舗装など）の必要が言われています。また、想定外をなくすため「津波」「火山噴火」に引き続き、洪水についても1000年単位のハザードマップを今後策定していく予定です。ハザードマップ地獄に入り込まないようPRも重要と考えるところです。

整備しても、あふれる時代が来ました。ひとつの転換期だと思います。今後ともよろしくご支援お願いします。

●堤川を愛する会 平成27年度活動報告

サークルリーダー 佐藤 信一

平成27年、活動基本方針の一つ「少しは社会貢献」の行事として、前年度迄実施して来た（過去十数年）水源周辺の環境保全の一環である『植林事業の現地観察会』が、6月27日 AM8:30より開催される旨の御案内を青森市より受け、当時植林した苗木の成長を見守ろうとメンバー8名で参加する準備をしておりました。所が当日は、早朝からの大雨・雷に見舞われたため急遽中止となってしまいました。

年度初めからの行事がキャンセルとなり、今後の観察会の案内を待つことになりました。

一方の活動基本方針である「川と遊び」では、恒例の『堤川河口でのハゼ釣り』を開催いたしました。昨年度は11月に開催したものの不調に終わったため、何とか今年度は挽回したいものと、早目の事前調査を始め10月22日に行われました。

参加者6名で穏やかな天候に恵まれましたが、待つ事1時間最初にヒットしたのはチカ！

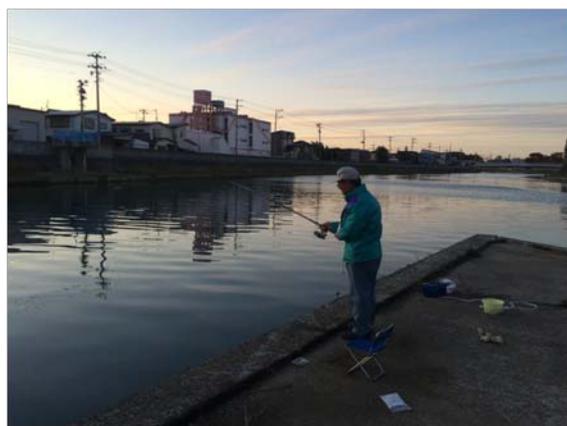
その後も、釣れたのはチカ・・・ 業を煮やしたメンバーの一部は下流へと場所移動。

2か所からのハゼ釣りとなりました。メンバーの頑張りによって、釣果はそこそこの結果を得る事が出来ました。

ハゼ=8匹、チカ=12匹 昨年度よりは成果を上げましたが、十分満足出来る結果とはならず夕刻の納竿と致しました。

夕方からの懇親会では8名の参加者となり、貴重な成果魚を全員で分かち合いながら充実したコミュニケーションを図り散会となりました。

来年度も、メンバー並びに関係者の御支援を仰ぎ「堤川を愛する会」の活動を進めて参りますので宜しくお願い致します。



ハゼ=8匹、チカ=12匹

● サークル「母なる川」 平成27年度活動報告
サークルリーダー 和島 隆志

サークル「母なる川」では2015年度の活動として、2016年2月にベトナムのホン川を視察してきました。ホン川は中国の雲南省・大理近郊に源を発し、同省を下り、国境を超えベトナム北部を南東に流れ、ハノイ市街部を通りトンキン湾に注ぐ川で、長さ約1,200km、流域面積約143,700km²の河川です。

かつてソンコイ川と呼ばれていたこの川は、水中に含まれる酸化鉄の影響で水の色が赤いため紅河（ホンハ）とも呼ばれ、現在では「ホン川」が一般的になっているようです。

また、河口から約160km上流のビエッチを頂点とし、トンキン湾岸を底辺としたほぼ正三角形のデルタ地帯は、面積約15,000km²のホン川デルタと呼ばれ、一大穀倉地帯ともなっています。南北に細長く、日本に似た地形のベトナムは、アメリカとの戦争を経て、今まさに発展の途上中といったところで、勢いが感じられましたが、その変化の勢いと昔ながらの川の流れとの対比が、現在のベトナムの国民性を象徴していると感じた視察でした。



● ジョイリバーおいらせ 平成27年度活動報告
サークルリーダー 中野渡 悟

毎年実施している植樹活動が荒天のため中止となりました。平成27年の第4土曜日6月27日（土）に植樹する予定でしたが、苗木も準備し参加者も募集しておりましたが、当日の大雨により危険と判断し、中止となりました。また、奥入瀬川の川下りは8月1日（土）に計画をし、46名の参加者で晴天のもと実施しました。当日は水不足のため、ボートが浅瀬に乗り上げたりしながらも全員無事ゴールにたどり着き暑い中、熱いどん汁とおにぎりで親交を深めました。



●親しめる川づくりサークル 平成27年度活動報告
サークルリーダー 南 直之進

平成27年7月18日に岩木川の河川敷において中弘南黒建設協会と一緒に「川でふれあい建設フェア2015」を開催しました。

自然に触れ合う機会が少ない子供たちが、親とともに川に触れ合える機会を設けるために、魚のつかみ取り競争と、建設業を身近に感じてもらうために、ものづくり体験コーナー、建設機械の展示と・試乗体験を行いました。

当日は多くの家族連れが訪れ、用意した500匹のニジマスが悪戦苦闘しながら、歓声を上げて楽しそうに追いかけたり、高所作業車やタイヤショベルなどの建設機械も人気があり、特に高所作業車は長蛇の列となりました。

また、初めて開催したものづくり体験コーナーは、イスづくり・畳でコースターづくり・ペンキでお絵かき、コテを使って壁塗り等親子で真剣に取り組んでました。

参加した子供たちは、皆すごく楽しかったと言っていたので、次年度もまた企画したいと思っています。



●平成27年度 総会・朗読会

あおもりの川を愛する会 事務局

平成27年度総会を平成27年5月16日にアラスカ会館に於いて開催しました。当日は日本河川協会の萩原寿夫氏に来て頂きご挨拶を頂きました。

総会終了後、「太宰が描いた津軽の川と風景と」演題で朗読家 原きよ氏による朗読会を行いました。(参加)



萩原 寿夫氏



原 きよ氏

●平成27年度 「水辺で乾杯」水辺関心創造アクション
あおもりの川を愛する会 事務局

堤川

平成27年7月7日に全国一斉社会実験として水辺関心創造アクションが7月7日午後7時7分に行われました。当会もこのイベントに参加しました。それぞれ県内の各場所（堤川、土淵川、旧十川）3ヶ所に飲み物を持参し集まって頂き川のほとりで乾杯致しました。（参加者 90名）



旧十川

土淵川



●平成27年度 松館川源流の地
あおもりの川を愛する会 事務局

平成27年7月17日に標柱の建立を三戸郡階上町大字田代字下田代に流れる松館川の源流の地に標柱を建立しました。同会は毎年1ヶ所、源流の地に標柱を建立しており、今年で区切りの良い10本目となりました。

参加者14名は、13時に集合場所から建立地まで車に相乗りし向かいました。7月という季節なのですが、この日は曇りで気温も高くなく作業日和でした。参加者は穴掘りなど交代で作業を行いました。（参加者14名）

<実績：大畑川、野辺地川、蟹田川、田名部川、土淵川、
天田内川、浅水川、鳴沢川、十川>



●平成27年度 河川技術講演会
あおもりの川を愛する会 事務局

平成27年9月16日に河川技術講演会を開催しました。青森河川文化講演会は設立の平成10年から開催され今回で18回目となります。

第1部として完成前の津軽ダムを見学会いたしました。

第2部の講演会は西目屋村関村長挨拶を始めとして西目屋村中央公民館で講演会を開催しました。内容は国土交通省 東北地方整備局 副局長 渥美雅裕氏が演題「河川堤防の管理について」、青森県中南地域県民局 地域整備部目屋ダム駐在 西村弘之氏が演題「目屋ダムのこれまでの働き」国土交通省 津軽ダム工事事務所 副所長 加藤 孝氏演題「津軽ダムの試験湛水に向けた取り組み」で行いました。(参加者 236名)



津軽ダムを見学



関村長

渥美氏



●平成27年度 蔦川（つたがわ）清掃活動
あおもりの川を愛する会 事務局

<平成27年9月5日（土） 於：蔦川>

第13回目となります蔦川（旧十和田湖町）の清掃活動を行いました。作業前に分別袋を渡し会員、焼山町会長ほか約60名参加されごみ拾いを行いました。

川岸・道路沿いには相変わらずジュースの空き缶・タバコの吸殻等落ちていました。それでも毎年行っている継続の成果でゴミは少なくなってきています。

当会としまして年1回の清掃・美化活動ですが、今後も継続し蔦川溪流に来て頂いた人に綺麗な川を見て頂きたいと考えております。



上北地域県民局 伊藤部長挨拶



●イワナ産卵床づくり

あおもりの川を愛する会 事務局

＜平成27年10月7日（水）於：鳶川小溪流＞

107イワナの日ということで10月7日に十和田湖近郊の鳶川の小溪流に今回で9年目になります「イワナの人工産卵床」を2ヶ所設置しました。

作ってから約1ヶ月後の11月25日に産卵を確認いたしました。（参加者15名）



確認された卵



完成した産卵床

●平成28年度 あおもりの川を愛する会総会のご案内

あおもりの川を愛する会 事務局



平成28年度の総会を5月21日（土）に予定しております。総会後には、講演会の開催も予定しております。詳細につきましては、後日改めてご案内いたします。ご繁忙中恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

●あおもりの川を愛する会 事務局より

あおもりの川を愛する会

「あおもりの川を愛する会」は今年で18年目を迎えました。会員数は現在198名となっています。今年度も、会員の協力のもとさまざまな活動を行なう事が出来ました。これからも会の活性化が図れるよう、頑張っていきたいと思っております。ご協力よろしくお願いたします。

【事務局】 〒030-0111
青森県青森市荒川字柴田102番地1

TEL:017-729-0922

FAX:017-739-3561

E-mail:kon-h@nishidagumi.co.jp